

関係各位

2023年12月5日

“公募”第52回全書芸展の開催

全日本書芸文化院（所在地：東京都千代田区、代表：吉田菁風）は、2023年12月14日（木）～25日（月）に東京・国立新美術館にて文化庁・東京都後援の『第52回全書芸展』を開催します。出品者は、全国からの応募による高校生以上（15歳から101歳）で〔公募〕384点・本院師範位以上の〔無鑑査〕374点・役員等による〔展覧会委員〕390点（委嘱役員小品10点・一字書20点含む）・〔友好出品〕1点の合計1,149点となります。漢字・かな部門で半切以下～最大6×10尺の古典・古筆の臨書及び創作の書作品を展示します。

公募部門の優秀者には、文部科学大臣賞・東京都知事賞などを授与いたします。

年末ご多用のところ恐縮に存じますが、ご来場賜りますようご案内申し上げます。

1 全書芸展開催の経緯

全書芸展は、本院が提唱する「純正書道」の成果を世に問う展覧会として、昭和47年（1972）に始まりました。出品者は、社中の偏重がなく、審査は厳正・公平に投票制で実施されております。審査員は、日展・毎日書道会・読売書法会・産経国際書会・独立書人団・日本書道美術院などの関係者と外部審査員で執り行っております。

2 開催概要

展覧会名：「公募」第52回全書芸展

会 期：2023年12月14日（木）－25日（月）

会 場：国立新美術館 2階展示室 2B・2C・2D

〒106-0032 東京都港区六本木7-22-2

開場時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分）

*12月19日（火）休館／最終日は午後2時閉会（入館は午後1時30分）

入 場 料：無料

特別展示：近世大家保存作品8点／第73回全国書道コンクール286点

交 通：東京メトロ乃木坂駅（美術館直結）・六本木駅／都営地下鉄大江戸線・六本木駅

イベント：作品解説／ぶらっとギャラリートーク／公開講座「かな書へのいざない」～紫式部の書道観～



3 全日本書芸文化院について

昭和25年（1950）創立。月刊競書雑誌『書宗』創刊。昭和47年（1972）、現在の『全書芸』に改題。初代会長は桑原 翠邦。古典・古筆に立脚した「純正書道」を標榜し、全国に400支部・12,000人の購読者様にご購読いただいているロングセラー月刊書道競書雑誌（一般・学生・ペン字）となっています。2月には全国書初大会、12月に全国書道コンクール・全書芸展等の書道イベントを開催。

4 問い合わせ先

全日本書芸文化院

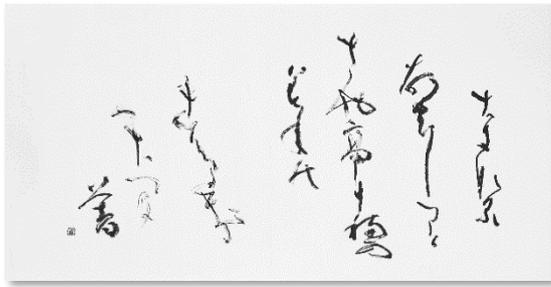
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-10-1

TEL 03-3294-3551 / FAX 03-3291-1238

E-mail info@z-shogei.co.jp / HP <https://www.z-shogei.co.jp/>



5 主な役員出品作品



名誉顧問 榎崎華祥

「大きなこのしづけさや高千穂の峰の続べたる」3×8尺



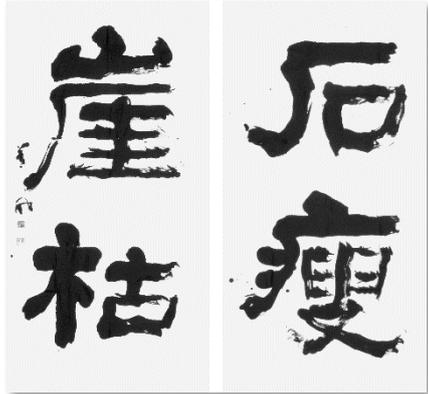
名誉顧問 堀天鶴

「勉」6×10尺



名誉顧問 目良丹崖

「流魚出聴」6×10尺



代表 吉田菁風

「石瘦崖枯」6×6尺



副代表 小林幸子

「時は今は春になりぬとみ雪ふる遠山…」4×8尺



運営委員長 水越幽峰

「丹砂研松間之露」3×8尺



実行委員長 古谷春峰

「春回雨點溪聲裏。人酔梅花竹影中。」3×10尺



運営委員 小泉移山

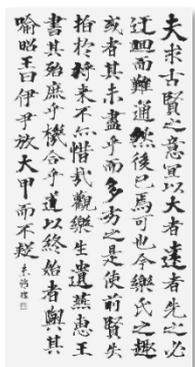
「雲破月来池」6×10尺



運営委員 原田弘琴

「有明の海のにごりに鴨あまたうかべ…」4×8尺

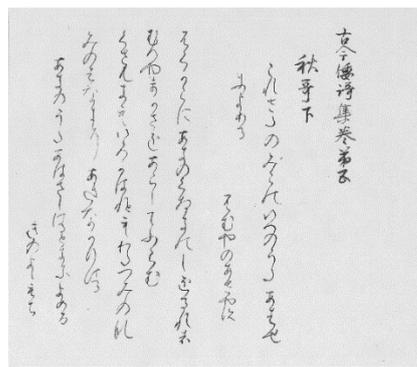
6 公募受賞作品



文部科学大臣賞・全書芸賞

漢字・臨書「光明皇后楽毅論」

工藤未侑 青森県立五所川原高等学校



文部科学大臣賞・推薦

かな・臨書「高野切第三種」

秋山葉子



東京都知事賞・推選

漢字・臨書「張玄墓誌銘」

宮村加邨



東京都知事賞・推選

かな・創作「夕されば」

旦保摩弓